秋田工業高校の近況

秋田県立秋田工業高等学校
校　長
黒澤　光弘

◎ごあいさつ

母校の校長に就任し、3年目を迎えました。早いもので、今年度で定年退職を迎えます。「新型コロナウイルス」の影響で、秋工同窓会各支部の総会・懇親会等が、2年連続全て開催が中止になりました。本来なら、会員の皆様に直接お目にかかり母校の近況や、御支援に対し御礼を申し述べたかったわけですが、それが叶わず大変残念に思っております。3年間、母校の校長として全国屈指の新校舎で、優秀な後輩達と充実した日々を送らせてもらっております。残された期間、学業・ものづくり、部活動において、後輩達が生き生きと活動できるよう全力で支援して参ります。今後とも、本校教育活動の充実・発展のため、物心両面にわたり変わらぬ温かい御支援を、御願い申し上げます。

◎昨年度を振り返って

学校は生徒の元気な明るい声が響き渡り、安全安心な場でなければなりません。それが、「新型コロナウイルス」によって大きな影響を受け、ダメージは計り知れないものとなりました。部活動においては、開催予定の各種全国大会が全て中止となり、また3年生の就職試験が一ヶ月後ろ倒しになるなど前代未聞の状況の中、生徒達は多くの犠牲を払い、挫折を味わい辛い日々を送ってきました。目標を失い多くの不安の中、下を見ていた生徒達も徐々に現実を受け入れ、逆に多くのことを学び、気持を切り替え、力強く歩んでくれました。生徒が少しでも元気を取り戻してほしいと思い、「学力の保証」を確保しながら、楽しみにしている学校行事（運動会・学校祭・体育大会等）は感染防止に最大限留意しながら、全て実施することができました。(2年次の修学旅行は、3年次に実施予定：関西方面)生徒達のあふれる笑顔は、学校に活気と我々教職員にも、多くのエネルギーを与えてくれました。さて、不安視されておりました3年生の進路状況でありますが、おかげさまで進路達成100パーセントとなりました。117年を迎える本校の歴史と、先輩達が築いてこられた輝かしい実績による「秋工のブランド力」の高さをあらためて、ひしひしと感じております。そして迎えた冬、ラグビーは花園で開催された第100回記念大会においてベスト16、駅伝は都大路で24位と奮闘してくれました。また、吹奏楽部もビデオ審査という形にはなりましたが、全国大会に駒を進めました。試合ができる喜びと多くの方々への感謝の気持ちを込め、完全燃焼した選手・部員達に心から賛辞を送りたいと思います。

◎今年度の状況

①3月13日、新駅「泉外旭川駅」(秋田駅―土崎駅間)が開業しました。新駅は地元の要望を受けた秋田市の請願駅であります。1985年に設置要望があり、2019年6月に工事が始まり、総事業費は約21億をかけ無事に完成いたしました。臨時列車を除き、奥羽線と男鹿線の普通列車と快速列車が上下計76本停車し、秋田、土崎の両駅まではいずれも4分ほどで着きます。片道190円。秋田市の試算では、1日当たり約2千人の利用を見込んでおります。線路を挟んだ駅の両側には、駐輪場やバス乗り場が整備されております。本校では開業に合わせて、登下校時に裏門を開放することにしました。新駅から裏門まで約1Km。徒歩10数分、自転車5分と大変便利になり、利用する生徒も大変喜んでおります。新駅開業に伴い、今後本校北側「泉・外旭川」地区は、益々活性化されるものと思っております。

②4月6日、秋田県内トップクラスの高倍率の狭き門を見事突破した、210名の優秀な新入生が入学しました。女子生徒が37名と約2割弱を占め、そのうち特に機械科には、過去最多の9名の入学者数となりました。青春の真っ只中の3年間、素晴らしい教育環境の中、充実した日々を送れるよう全力で支援して参ります。

③5月下旬から、2年ぶりに秋田県総合体育大会が開催されました。昨年度、中止になったこの大会も、全ての競技が無事に終了できました。結果は、団体優勝4部(ラグビー・柔道男子・体操女子・空手道男子)、個人優勝延べ13名(陸上・柔道・体操・空手道・ボクシング・水泳)と、奮闘してくれました。その結果、北信越インターハイ(7月～8月開催)には、柔道男子団体・個人、空手道男子団体・個人、体操女子団体・個人、バドミントンダブルス1組、陸上競技1名(800m、1500m)、ボクシング1名、計6部28名の選手が参加いたします。北信越の地で金砂健児の力を遺憾なく発揮し、活躍することを大いに期待しております。また、ものづくりコンテスト秋田県大会「旋盤作業」・「木材加工」・「化学分析」の3部門が終了し、本校生徒が全て優勝いたしております。今後、東北大会で優勝した1名が、11月に行われる全国大会(神奈川県で開催)に出場権を獲得できます。これから、「電気工事」・「電子回路組立」・「測量」の3部門の開催がされます。運動部同様、ものづくりコンテスト部門や「メカトローレーシング班・ロボット班」などの、ものづくり全般の活躍に、大いに期待しているところであります。

④冬の花園・都大路の出場を目指す、ラグビー・陸上競技の両部は、これまで順調な仕上がりを見せており、県内のライバル校を圧倒しております。10月末には、皆様に嬉しい出場の報告をお届けできるものと思っております。今後も、全国で上位を目指せる実力を身につけるため、強化に励んでもらいたいと思います。

◎終わりに

今年度、学校経営重点目標に新たに「愛校心をもち、常に夢や希望に向かって努力する生徒を育成する」を、追加いたしました。自分の学校を愛する心(愛校心)を育てることは、学校教育の根幹をなす極めて重要な要素であると思います。学校を愛する心と、自らの自信や誇りを高めていくこととは、密接に関連していると思っています。「私は、秋田工業高校生です」「私は、秋田工業高校の卒業生です」と、胸を張って言える人物を、様々な教育活動の中で育成したいと考えております。

今後一日も早くコロナが終息し、平穏な生活を送れることを皆様と願うと共に、東京秋工会の益々の御発展と会員皆様方の御健勝を心より御祈念申し上げます。